

平成 3 1 年度 障害者スポーツの主な事業と予算概要

障害者福祉推進課

1 目 的

東京パラリンピックを控え、埼玉ゆかりの障害者アスリートを支援するとともに、障害者スポーツ大会の開催、全国大会への派遣等により障害者スポーツの振興を図っていく。また、県民が障害者スポーツを体験できる機会の提供や、障害者スポーツを支える人材の育成など、障害者スポーツへの理解と参加の促進を図る。

2 事業概要

(1) 埼玉パラドリームアスリート事業

32,320千円

- ア パラリンピック出場が期待される選手25人を特別強化選手として選考し、国際大会や国内大会参加に係る遠征費用、専属コーチに係る委託料等を助成する。
- イ 専門家によるコンディショニング、栄養指導やメンタル指導等のサポートを実施する。
- ウ 県内の競技団体等を対象に競技力向上のための支援を行い、県内トップレベル選手の全体的な底上げを図る。

(2) 障害者スポーツが身近になる環境づくり事業

12,856千円

- ア 障害者スポーツの理解促進教材の作成や、小中学校、高校及び大学を対象とした体験交流会等を実施することで、障害者スポーツへの理解を促進する。
- イ 障害者スポーツ指導員の育成や活動支援及び障害者を対象としたスポーツレクリエーション体験を行うことで、障害者がスポーツを行う機会を創出する。
- ウ 障害者のある方もない方も共に参加することができるボッチャ大会を開催する。

(3) 彩の国ふれあいピックの開催

8,887千円

障害者スポーツの普及を図るため、春季大会（個人競技）、秋季大会（スポーツ参加のきっかけづくり）、球技大会を開催している。

(4) 全国障害者スポーツ大会等への派遣

32,465千円

毎年開催される全国障害者スポーツ大会に埼玉県選手団（127人）を派遣する。